



国労東北自動車支部

自動車支部定期大会

第64回

止まらぬ退職者

労働条件の改善急務

仙台市

1月20日(月)、10時30分より
仙台市、青葉パークビルにおいて
第64回東北自動車支部定期大会
が開催されました。

兜森副委員長の司会で議事が
進行。冒頭、北山委員長が「昨年、
2名の仲間が雇い止めや不当な
転勤によって職場を去ることに
なり改めて会社に対し強い憤り
を感じる。これをバネに労働条件
の改善と組織の強化・拡大を精一
杯取り組もう」と挨拶。来賓に駆
けつけた原子地本書記長からは
「3月に仙台総行動、東北総決起
集会、原発のない福島を！県民大
集会など春闘と合わせ取り組み
をお願いしたい。また、組織拡大
の取り組みと事務的な取り組み
を学習する中で一層強化してほ
しい」と要請と合わせ挨拶されま

した。続いて交運共済東北支所の
太田事業副本部長より職域生協
としての共済運営の確立とさら
なる加入促進について話され、今
後も支部一体となって取り組み
を強化することを確認しました。

その後、経過や運動方針、会計
報告の質疑をし、新役員のもと向
こう一年間、全員で取り組みを強

| | | |
|--------|------|-----|
| 支 部 | 役 員 | 仙 台 |
| 執行委員長 | 北山修司 | 秋田 |
| 執行副委員長 | 兜森秀昭 | 福島 |
| 書記長 | 安保功彦 | 盛岡 |
| 執行委員 | 新田順一 | 青森 |
| ” | 岩崎 宏 | |

化し頑張
ることを
確認しあ
い終了し
ました。
尚、終了
後、伊賀所
長より共
済担当者
会議を行
いました。

発 責
北山修司
編 責
教 宣 部
NO,17
2014.1.25

主な意見

●ダイヤ改正において会社より東
労組には話があるようだが我々には
無い。J R 労組も同じで問題で
はないか。

●東労組は好きではないが会社には
逆らえないという状況がある。

また、情報が筒抜けになっている。

●左アンダーミラーにカメラを付
けて、運転手が荷扱いをしている
か監視をしている。今後、拡大し
ていくのか不安である。

2月3日
夏季ダイヤ
提案団交

●平均走行キロ350キロ以上は
きつい。職場はエルダー社員と契
約社員で安全についてどう考えて
いるのか疑問である。

●契約社員の引き抜きはやめよう
とバス協で決めているにもかかわらず
J R バスは破った。現在、一
カ月間オフ期間を設けている。

●契約社員がどんどん入っている
がやめていく人も多い。社員に甘
えがあると思っている管理者がい
て勤務変更も黙ってやっている。

やめていくのは拘束時間が長く、
パワハラがあるからだ。

●職場は暗く運転養成の仕方にも
疑問。ダイヤの分割も問題と思う。

長い間、ご苦勞様でした。



今年の8月31日付で浅利 功さ
んが退職。今年2月28日付で原 弘
治さんが退職予定となり、支部大
会后、激励会を開催しました。



信越時代に東北自動車
部に移管。分割・民営化
で十和田南から久慈へ強制転勤。盛岡
地本や地域の仲間に支えられ勇気づ
けられた。今後も頑張る。



社会人から国鉄バス北
福岡営業所に就職。福島
にローテーション転勤になっても仲間の
支えがあった。今後もよろしく。